



第 331 号 平成18年 3 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 長 村 吉 朗

## 平成17年度 学校医講習会に出席して

会 長 長 村 吉 朗

2月18日に日医会館で開催されました日本医師会主催の平成17年度学校医講習会に、平位副会長と共に出席いたしましたので報告させていただきます。尚講習会の詳細な内容に関しましては、9月頃の日医雑誌に掲載されますのでそちらをお読みいただきたく存じます。

講演会は雪下日医常任理事の進行により執り行われましたが、午前中の講演では戸田芳雄文部科学省スポーツ・青少年局体育官による「最近の学校健康教育行政の課題について」から始まり、学校保健の充実のみならず昨今の子どもを巻き込む事件の多発を受け学校安全の確保の対策など多くの課題に取り組んでいることが説明されました。質問の中では、色覚検査の今後の方針に対する答えで、これまでの経過をふまえ色覚検査の再度の実施に関しては考えていないとの回答がありました。引き続き「受動喫煙の防止と学校敷地内禁煙」に関して、藤森宗徳千葉県医師会長と原田正平国立成育医療センター研究所生育政策科学研究部生育医療政策科学研究室室長の二人より学校敷地内禁煙の歴史とその医学的意義に付き講演がありました。2001年に香川県土庄町より始まった学校敷地内禁煙は健康増進法の施行後全国に広がりを見せ、京都市も2004年より実施していますが、分煙を薦めている地域では学校敷地内禁煙の実施が遅れていることなどが紹介されました。

午後からは、中村丁次日本栄養士会会長による「食育について」の講演で、その中で人間は食べなければ死ぬとの話で、IRAの闘争の中でのハンガーストライキで水だけ飲んで30名の内10名が70日

後には死亡し、その時点で40%前後の体重減少であったことが紹介されました。全く知らなかった話であり印象に残りました。最後のシンポジウムは「学校・地域保健連携推進事業の実施の問題点—専門校医普及のために—」で、山口吉春神奈川県厚木市立鳶尾小学校校長、伊藤尚之大阪府医師会理事、岩井雅彦日本臨床皮膚科医会理事、富永考神奈川県医師会理事、清古愛弓東京都教育庁学務部学校健康推進課長、雪下囀雄日本医師会常任理事により行われましたが、この事業は京都市におきましては大々的に行われていないためにご存じない会員も多くいられることと存じますが、精神科、整形外科、皮膚科、婦人科の専門医師に学校医としての活動をしていただくというもので、現在のところ、教職員や父兄を対象とした講演会の実施などが主体となっており、平成16年より3年間を試行期間として予算化されています。現在全国で行われてはいるが平成18年以降の事業の継続に対する不安や、事業の内容と名前のわかりにくさ等が指摘されておりました。又日本医師会の考えている専門医の学校医への導入の構想と、地域医療と学校との結びつきの、どちらの方向性を求めているのかとのフロアからの質問には同様の感を持ちました。

## 第20回 大文字駅伝記念大会にて

月輪小学校医 大 本 一 夫

時折小雪が舞う衣笠校グラウンドで、スタート地点医務担当として、1区担当の男子選手のウォーミングアップを見ていた。緊張からか一様に彼らの表情は硬いが、走りだすとさすがに代表選手だけに大腿の挙げ、足の蹴り上げなどに力強いものを感じさせられる。毎年上位に入る学校の選手達は、更に走りに日頃の練習の効果を感じさせられる。

私とペアになった、同区担当のベテランの養護の先生は京都会馆前で、選手がバスに乗る前から、選手達の表情を観察していたが、ウォーミングアップが終わる前に教室に帰り、選手の帰りを待ち飲み物の準備をされている。顔色の冴えない選手にも声をかけ体調をチェックされている。きめ細かい気配りである。選手達への担当者のブリーフィングは丁寧で分かりやすいが、たすきのかけ方や選手の上着を

転送するための袋に自校の番号を記載する要領が事前に徹底しておらず、説明に時間がかかり、スタート時間にくい込みスタート担当の先生をあわてさせていた。ともあれ、無事定刻に51チームの若武者達が衣笠校前の西大路をスタートした。

大文字駅伝は京都の冬の小学校の一大イベントであり、子供たちの走ることへのモチベーションを高めているばかりでなく、参加選手同志の連帯感が生まれ、相当の教育的効果があるように思われる。その準備と運営にはただでさえ、時間外業務の多い先生方に負担をかけているように思われるが、今後とも児童の持久力の向上と、精神的な成長のため是非継続して頂きたいと思う。ただし過剰な練習による運動器の損傷に配慮しつつ。

---

## こころの健康増進センターからの呼びかけ

副会長 平 位 喜七郎

平成18年2月13日 京都府医師会館の西隣に隣接する京都市こころの増進センターの呼びかけで、思春期、青年期のこころの問題に関係する関係機関や行政機関が一堂に会し運営検討会議を開き、平成17年度思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業についての意見交換の場もたれました。

それは、近年、精神的に不安定な時期にある思春期・青年期の問題行動が多く発生しており、これらについては、多くの要因が絡み合っており、一つの機関だけでは対応しきれない複雑な背景をもつものが多いのが現状です。したがって、様々な側面からのかかわりも必要な事例もあり、地域の保健・医療・福祉・教育等関係機関が連携しながら適切に対応していくことがもとめられています。このため、京都市において、関係機関の連携強化と相談・支援体制を充実させ、地域ネットワークをつくることを目的

に呼びかけられました。招集された関係機関、団体、行政機関は、〈保健〉保健所・こころの健康増進センター〈医療〉京都市学校医会・京都大学医学部付属病院（精神神経科）・京都府立医科大学付属病院（精神科）・京都市立病院（精神神経科）、〈福祉〉地域福祉課・児童福祉センター（発達相談所）・発達障害者支援センター、〈教育〉教育委員会（体育健康教室・生徒指導課）、〈司法〉京都家庭裁判所・京都少年鑑別所、〈その他〉勤労福祉青少年課・青少年活動センター・京都ダルク（薬物依存症専門のリハビリテーションセンター）、〈オブザーバー〉京都府警察本部少年サポートセンターの代表17名で、お互いの守備範囲や実践、体験が語り合われました。児童、生徒から思春期にかけて、心の問題は多岐にわたって起こっていて、私たち学校医もこの問題をさけて通れなくなっている実情を実感し

ました。

これからは、各地域、各担当校で心の問題で学校医としての意見を求められることが増えてくると予想されますので、京都市でどんな関係団体やボランティア活動が展開されているかをお報せし、また必要時に連携よろしくをお願いします。

なお、京都市こころの健康増進センターは、市民のこころの健康についての情報提供をはじめとして、

相談援助や精神疾患による障害のある人の社会参加の促進に取り組んでおられます。

京都児童福祉センターは21世紀を担う子どもたちがすこやかにはぐくまれ、いきいきと生活できるよう心やからだの成長・発達のことなど、子どもに関するいろいろな相談をうけ、専門的な立場から解決をはかる児童福祉の総合機関で、児童相談所と発達相談所があります。

## 次回京都市学校医会総会の講演について

月輪小学校医 大 本 一 夫

長村吉朗会長が来たる4月15日の総会の講演で面白い演者を求められましたので、私の師匠であり、大阪市大ヨット部OBで大阪北港ヨットハーバーのディンギー教室校長、マリンコンサルタントオフィス「そよかぜ産商」代表の笹岡耕平氏を紹介いたします。笹岡氏は大阪市大法学部卒業後サントリーに就職するもヨットへの情熱断ち難く、沖縄海洋博・太平洋横断レース、英国でのアドミラルカップレースに出場され、その後南太平洋1周や西廻り世界1周をされディンギーの教則本を始め10数冊のヨット

関連の書を執筆されている我が国のヨット界では著名な方です。最近では競技レースよりも中高年の為のヨット塾を主宰されつつ国内外のクルージングを楽しまれています。今回の講演では1996～2002年までヨーロッパ内陸水路を航海された時の話を中心に御講演して頂く予定です。多数の先生方がヨーロッパを旅されたことがおありかと思いますが、運河の航海という変わった視点からヨーロッパを見られた氏のお話は興味深いものがあります。

是非多数の先生の御参加をお願い致します。

### 平成18年度 京都市学校医会総会

- ◎ 期 日 平成18年4月15日(土)
- ◎ 場 所 竹 茂 楼 (左京区栗田口鳥居町65 TEL 771-4185)
- 1. 総 会 午後3時より  
議 事 (1) 平成17年度事業・決算報告  
(2) 会計監査結果報告  
(3) 役員改選  
(4) 本年度活動方針について  
(5) 平成18年度事業案・予算案審議
- 2. 講演会 午後4時15分より  
講 師 笹 岡 耕 平 氏 (マリン・コンサルタント)  
「ヨットで巡るヨーロッパ内陸の旅」
- 3. 懇親会 午後5時30分より  
会 費 10,000円

10/9 (祝)、12/3 (日)、1/21 (日) に予  
定

## 第11回 常任理事会

平成18年3月4日  
於 事務局

**出席者** 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、  
井上・藤田・竹内・東道・青木・蘆原常任  
理事、星谷耳鼻咽喉科医会理事

### ・会長挨拶

### <報告事項>

1. 北支部会 2/4 (長村)  
ブライトンホテルにて、10名参加、先月号参照
2. 創立100周年記念誌準備委員会  
2/7 (長村)  
目次の大略決定
3. 精神衛生研究会 2/9 (平位)  
8名の出席
4. 大文字駅伝大会 2/12 (林)  
今月号参照
5. 日医学校医講習会 2/18 (長村)  
今月号参照
6. 京都市学校保健協議大会 2/21 (長村)  
精神衛生研の中学に対するアンケート結果の発表
7. その他
  - ・自閉症の医療におけるバリアフリーの講演会  
(3/2): 盛会であった
  - ・就学時健診時の麻疹ワクチン、風疹ワクチンの接種率の調査結果
  - ・伏見学校保健支部会 (2/14)

### <協議事項>

1. ホームページについて  
ホームページの閲覧開始、今年度の学校医会誌も掲載予定
2. 京都市学校医会総会について 4/15
3. その他  
H18年度、小学生記録会は8/3 (木)、

### <関連学会・各種協議>

1. 感染症講演会 3/4 (全日空ホテルにて)
2. 東山支部会 3/5 (ホテルオークラにて)
3. 腎臓相談 3/7
4. 精神衛生研究会 3/9
5. 学校医部会総会 3/9 (府医師会)
6. 色覚相談 3/28
7. 新任校医研修会 3/30
8. 全理事会 4/6
9. 次回常任理事会 4/1 (1:30PM~)

